

令和6年3月21日

市民の皆さまへ

庄原市役所 口和支所長
(総務室)

Tel. 0824-87-2111

fax. 0824-87-2057

行政文書の発行について

令和6年3月21日付けの行政文書をつぎのとおり発行します。



<回 覧>

1	市営住宅(地域振興住宅)入居者募集のお知らせ	環 境 建 設 部 都 市 整 備 課
2	市営住宅(公営住宅)入居者募集のお知らせ	環 境 建 設 部 都 市 整 備 課
3	市営住宅(特定公共賃貸住宅)入居者募集のお知らせ	環 境 建 設 部 都 市 整 備 課
4	令和6年度 市町村設置型浄化槽の設置及び浄化槽設置整備事業補助金の申込受付のお知らせ	環 境 建 設 部 下 水 道 課
5	平成30年から令和4年までに発生した災害の復旧状況 No.32	環 境 建 設 部 災 害 復 旧 課
6	令和6年度 庄原市がんばる農業支援事業のご案内	企 画 振 興 部 農 業 課
7	国営備北丘陵公園イベントのご案内	企 画 振 興 部 商 工 振 興 課
8	庄原市上野総合公園だより	上 野 総 合 公 園
9	庄原さくらスポーツクラブだより	教 育 部 生 涯 学 習 課
10	総合体育館だより	教 育 部 生 涯 学 習 課
11	庄原市埋蔵文化財センター「収蔵品展」	教 育 部 生 涯 学 習 課
	優良運転者表彰の申請を受け付けます	総 務 部 危 機 管 理 課
12	春の全国交通安全運動	総 務 部 危 機 管 理 課

裏面へ続く

13	庄原市農業委員会だより「恵みの大地」春号	農 業 委 員 会
14	庄原市高齢者等生活支援施設(永田ハイム)入居者募集について	口 和 支 所 市 民 生 活 係
15	釜峰山 第56号	口 和 中 学 校
16	よちよち通信	口和子育て支援センター

<各戸配布>

1	元気かわら版 vol.208	庄原市社会福祉協議会 口和地域センター
2	ふれあいひろば	口和自治振興区
3	口和防災だより	口和自治振興区
4	#口和が好き	口和自治振興区

庄原市高齢者等生活支援施設（永田ハイム）

入居者募集

○「高齢者等生活支援施設」とは

自宅での生活の維持が困難な高齢者、障害者の方などに、住み慣れた地域で安らかな生活を送っていただくための共同住宅です。

庄原市全体では6施設があり、それぞれ5世帯から9世帯の入居ができます。居室は一人暮らし用として造られていますが、近親者との同居も可能な施設もあります。

○入居者を募集しています

口和町永田「口和高齢者等生活支援施設“永田ハイム”」に空室ができましたので、入居される方を募集します。

○入居対象者は、次の各号に該当される方です。

1. 庄原市内に住所を有している方。
2. 原則、自立した生活が可能な方。
3. おおむね65歳以上の方、又は障害者の方。
4. 共同生活を営む上で支障のない方。

○月額利用料金

部屋代 10,500円 ～ 21,000円

※年間（前年）収入額に応じて減額制度があります。

共益費（月額） 2,000円

自室電気料

部屋毎に電気メーターが設置してあります。

食事提供を希望される方 1,500円（1日）

※朝食 300円・昼食 600円・夕食 600円

○入居申請手続き及び締め切り

令和6年4月20日（土）までに下記（ハートウイング）へお申し込み下さい。入居申請書類をご用意しています。診断書等、取得に時間がかかる書類もありますので、手続きはお早めをお願いいたします。

●社会福祉法人 口和福祉会

特別養護老人ホームハートウイング 施設長 大田一博

〒727-0114 庄原市口和町永田 413 番地

T E L 0824-89-2700

F A X 0824-89-2800

○ 永田ハイムの概要

・所在地 〒727-0114 庄原市口和町永田 496-1

・募集の部屋数 5室

（居室は一人暮らし用として造られていますが、近親者との同居も可能です。）

・規格・構造

木造平屋建て（最大9世帯入居可能）

（1戸あたり：居室8畳、台所、トイレ付き、浴室は共同ですが、男性用と女性用あり）

（お問い合わせ先）

社会福祉法人 口和福祉会

（特別養護老人ホームハートウイング）

電話（0824）89-2700

又は、

庄原市役所 口和支所 地域振興室 市民生活係

電話（0824）87-2112

庄原市立口和中学校

令和5年度 学校だより第56号

釜 峰 山

令和6年3月8日(金)

発行者：校長 大里 康暁

パスワード：k-honki

卒業おめでとう！

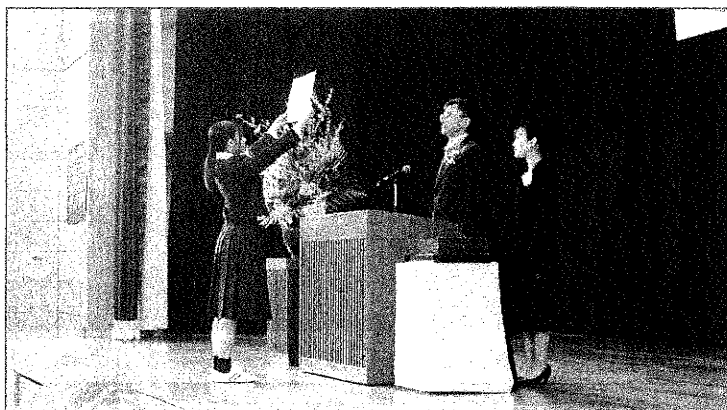
3月7日(木)、卒業証書授与式を行いました。3年生とのお別れの日がやってくることは、当たり前のことでおめでたいことではあるけれど、やはり寂しい気持ちが募っていくのを誰もが感じていたここ最近の日々でした。

「いよいよ卒業証書授与式の週！」と思って迎えた3月4日(月)、朝から学校の電話が鳴り続け、欠席者がたいへん多くなることがわかりました。様々連携する中で、2年生が学年閉鎖となりました。2年生の皆さんにとっても、色々な思いが交錯するもどかしい学年閉鎖だったと思います。さらに感染が拡大すれば、予定通り開催できなくなることを心配しました。しかし、欠席者が数名おり、みんなで卒業証書授与式を行えなかったことは残念ですが、2年生も一緒に卒業生を送り出せて安堵しています。

卒業証書授与式を行うにあたり、1年生が「2年生の分まで」と強く思い、準備に尽力してくれました。心細さもあつたでしょうが、会場準備・リハーサル・前日準備と、みんなで協力して動くことで無事卒業証書授与式を迎えられました。中学校に入学して、まだ1年なのに、ここまで頼もしくたくましく成長していることをとてもうれしく思います。1年生の皆さん、お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。2年生は、当日いきなり

の参加となりましたが、この式の重みや意味を感じ取り、在校生の代表としての役割を果たすことができるのはさすがだと思います。2年生の皆さんが、次代を担うことを意識しながら、これまで積み上げてきたことの大きさに感じ入ります。在校生の皆さんは、卒業生からのエールをしっかりと受け止めたことと思います。これからの口和中学校をよろしく願います。

また、先生方にも例年同様、ある面では例年以上にたくさんの心配りをしながら準備をし、最終チェックまでしっかりとやり切ってもらいました。こうやって、困難を乗り越えて迎えた卒業証書授与式は、格別な思いでした。

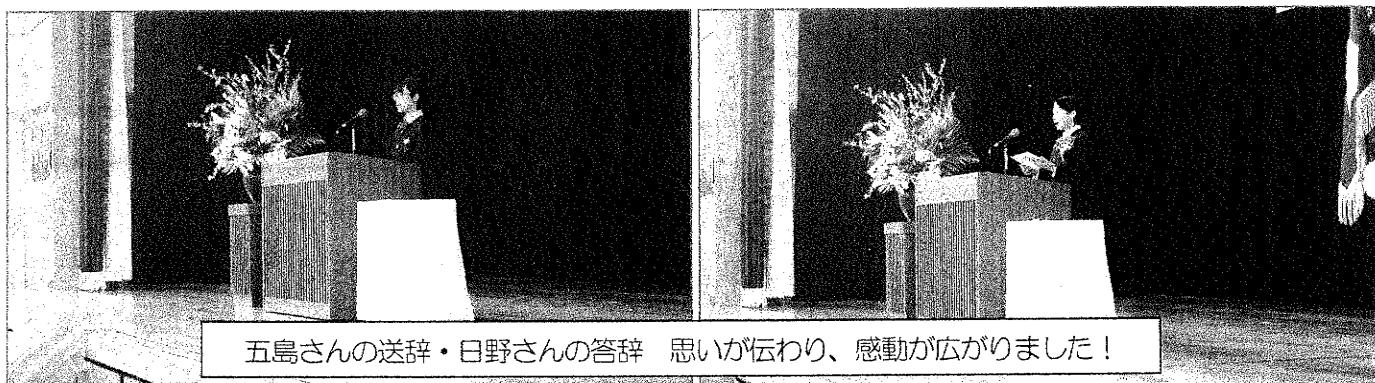


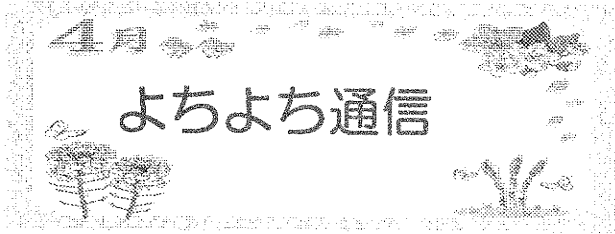
卒業生は、それぞれがしっかりと個性を發揮しながら、19人が一つになって素晴らしい色を創り出し、1・2年生とともに口和中学校を素敵に彩ってくれました。それは、簡単なことではなく、それぞれがたくさん葛藤や思いをもちながら、それでも、全員でまとまることを諦めなかったからこそだと思います。そうやって口和中学校を染め上げた色は、これまでのどの年とも違うものです。令和5年度を令和5年度でしか表現できない色で染め上げてくれました。たくさんの素敵な思いを残して卒業していった皆さんに、心から感謝します。本当にありがとう！

卒業生にとって、口和中学校での年月が、これからの人生を支えるよい思い出になっていればとてもうれしいです。式辞でも述べましたが、皆さんが、いくつになっても、いつまでも、自分の行く末を信じ続けていくことを心から祈っています。どんなに大変でも、どんなにしんどくても、何があっても、自分の人生を諦めることなく進んでください。皆さんは、私たちにとって光です。口和中学校魂をどこへ行っても發揮してくれることを楽しみにしています。体にだけは気を付けて、元気で健やかに過ごしてください。

保護者の皆様、素晴らしいお子様たちとの出会いを私たちにプレゼントしていただき、ありがとうございました。至らぬ点が多かったことと思いますが、いつもご理解ご支援いただいたことに感謝でいっぱいです。手前みそではありますが、教職員全員、この子たちのことを本気で思い続けてきました。私自身、そんな教職員に頭が下がる思いです。家庭と一緒に、この子たちの成長に関われたことを幸せに思います。保護者の皆様にもお体には十分留意され、今後も元気にお子様たちとともに過ごされることを祈っています。また、多くのご来賓の皆様・地域の皆様にもご参列いただきました。多くの祝詞・祝電もいただいております。卒業生への温かいお言葉をたくさんいただき、ありがとうございました。これからも、口和の子として、これまで同様、見守っていただきますようよろしくお願いいたします。

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。





よちよち通信

色とりどりに咲く花々とともに、
新年度が始まります。

新年度は、これまで各支援センターで行っていた「すくすく子育て広場」「なかよしサロン」「子育て広場」を、3町合同の「子育て広場」として開催します。その他の行事についてはその都度、「よちよち通信」でお知らせしていきますが、お住いの町に限らずご参加いただけます。これからも交流を深め、子育ての輪を広げていきましょう。

令和6年3月19日

発行：口和子育て支援センター(口和老人福祉センター内)
庄原市口和町永田 415-4 TEL0824-89-7070

一般社団法人里山こども未来会議
庄原市西本町 2-8-11 TEL0824-74-6636

口和支所地域振興室市民生活係
庄原市口和町向泉 942 TEL0824-87-2112

【開設日・時間】

- 口和子育て支援センター●
月曜日、水曜日、木曜日(祝日を除く)
- 比和子育て支援センター●
金曜日(祝日を除く)
- 高野子育て支援センター●
火曜日(祝日を除く)

いずれも **9:00~12:00 13:00~15:00**

なかよしサロン (比和)

日 時：4月 12日 (金) 10:00~12:00
場 所：比和子育て支援センター
(比和保育所内)
持参物：水分補給できるもの

☆『座談会』

日頃の子育てで感じている事などお話ししましょう。また、希望により身体計測もできます。ご利用ください。

日 時：4月 26日 (金) 10:00~12:00
場 所：比和子育て支援センター
(比和保育所園庭)
持参物：水分補給できるもの

☆『戸外遊び』

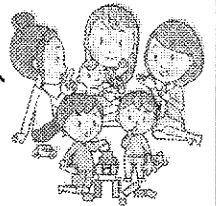
※天候により室内遊びに変更する場合があります。

すくすく子育て広場 (高野)

日 時：4月 16日 (火) 10:00~12:00
場 所：高野子育て支援センター
(高野保健福祉センター内)
持参物：水分補給できるもの

☆『座談会』

日頃の子育てで困っている事や、嬉しかった事など、一緒にお話ししましょう



「コロコロオイル作り」(口和)

日 時：4月 22日 (月) 10:00~12:00
場 所：口和子育て支援センター
(口和老人福祉センター内)
講 師：瀬戸照美さん
(アロマケアサロン パニエ)
持参物：水分補給できるもの
参加費：実費負担 (1,000円程度)
申込先：口和子育て支援センター
0824-89-7070
申込締切：4月 15日 (月) まで

手首や胸元に好きな匂いのコロコロを塗って、香水を楽しむオイル「ローションオンフレンチ」を作ります。

※口和自治振興区主催



子育て支援センター開設変更のお知らせや、支援センターの様子などを「里山こども未来会議のホームページ」からご覧いただくことができます。ぜひ、ご利用ください。

↑
里山こども未来会議
ホームページ

※ご利用の際には、検温、手洗、消毒をお願いします。体調不良の場合は利用を控えましょう。

安心 元気な 口和の創造

ふれあいひろば

? 口和クイズ 八国見山の名前の由来は?



公式HP



フェイスブック



インスタグラム



ライン

- ◆くちわのつどい
- ◆女性セミナー
- ◆視察受け入れ
- ◆ソフトバレーボール大会
- ◆ゴミの仕分け講習会
- ◆春の防火デー
- ◆会議速報
- ◆3月の主な行事
- ◆地域マネージャー通信欄
- ◆口和クイズの答え
- ◆おしらせ
- ・通常総会 4/21
- ・ロールオンレグランス教室 4/22
- ・春の美クリーン運動 4/28
- ・配食サービス「まんてん弁当」
- ・健康マージャンサロン
- ・口和地域未来塾の体験会
- ◆4月の行事カレンダー



撮影日 3月2日
「くちわのつどい」で
ステージを飾った生花

口和地域データ

|人口| 1,726人 (-56)
|世帯数| 746世帯 (-10)
令和6年2月末日現在/増減: 前年同月比



『くちわのつどい』

地元の人ならではの視点から「地域の支えあいづくり」をテーマに口和への熱い思いをこめてお話しをしていただきました。座談会でも過疎化、高齢化など課題はありつつも「人の好き」「自然の豊かさ」等、住んでいるからこそ感じる口和の暮らしやすさ・豊かさについて意見交換しました。

開催日 3月2日(土)

参加者 100名

●事例報告

- 川東哲也さん(口和駐在所)
- 松本晋太さん(ほしそら不動産)
- 三上紀子さん(新月マルシェの会)

●事例報告メンバーで座談会

●レクリエーション体験

- ポッチャ ゲーゴル モルック
- 健康マージャン



笑いヨガ



音楽会

ギター演奏は湯木出身の上野浩司さんです

『女性セミナー』

参加者は、合言葉を叫びながら体全体を使ってかいっぱい笑いあった「笑いヨガ」や、懐かしの昭和歌謡を満喫した「音楽会」、つぎることのないおしゃべりで盛り上がる「交流カフェ」を楽しみました。

開催日 3月16日(土)

参加者 41名

●笑いヨガ

- 山脇明子さん 小谷勝行さん
- (西城)

●音楽会

- Ueda☆Okadaさん(三次)

●交流カフェ

市内団体で連携を深める『視察受け入れ』『勉強会』

同じ市内に住んでいながら、お互い知らないことや新鮮な気づきがあり有意義な交流の場となっています。今後も、自分達の強みを活かし一緒にできることを模索したり情報交換しながら、地域課題可決に取り組んでいきます!

- 「移住・定住」八鉾自治振興区 2/22
- 「振興区活動」東自治振興区 2/26
- 「防災・福祉」ひとり暮らし高齢者等巡回相談員
西城地区協議会 3/11



『第18回 口和ソフトバレーボール大会』

心底冷える真冬の会場を、熱く盛り上げる本大会は、コロナ禍以来、久しぶりの開催となり、ゲームに勝つことはもちろんですが、一緒にプレーできることも共に喜んでおられました。

開催日 2月25日(日) **主催** スポーツ協会
参加 6チーム **口和支部**
会場 口和中学校体育館
結果 ①永田A ②スイス村 ③大月



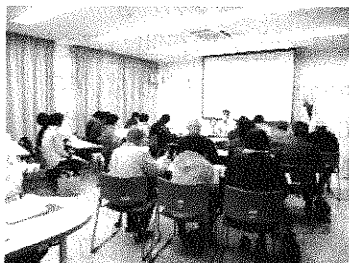
『ゴミの仕分け講習会』

地域の困りごと解決に取り組んでいる「ぬくもり会議」が、ゴミの仕分け講習会を開催しました。

(3月13日)

毎日の暮らしに必ず出てくるゴミを捨てる時、ゴミの分け方ガイドを読んでもわかりづらかったり誰に相談して良いか悩むことも多々あります。

今回は、庄原市リサイクルプラザの職員さんが、ゴミの分別方法や、ゴミを出す時の基本的なルール



について説明された後、参加者からのゴミに関する疑問や質問に答えていただき「今まで悩んでいたことが解決できた」と好評でした。

＼ ゴミのことで悩まれたら 担当課へご連絡ください ！

- リサイクルプラザ係 (72-1398) 一般廃棄物の処理など
- クリーンセンター係 (72-2044) 可燃ごみの処理など
- 環境政策係 (72-1398) 生活衛生、環境保全など
- 口和支所地域振興室 (87-2113)

『春の防火デーと火災想定訓練』



1年の中でも特に風が強い季節であることから、空気が乾燥する冬以上に火災が多い春がやってきます。

庄原市消防団口和方面隊・三次消防署口和出張所・庄原市役所口和支所が、町内をパレードしながら各家庭を訪問し火災予防を呼び掛けるチラシを配布した後、口和総合運動公園で林野を利用した放水訓練を行いました。

(3月10日)

住宅報知器の点検や、細心の注意を払ったたき火、消火器の準備など日ごろから火災予防を心がけましょう。

会議速報

『どんなこと話しょうるん?』

口和自治振興区で開かれた様々な会議のあれやこれやを抜粋してお伝えします。

通常総会 (4/21) にむけ、今年度の振り返り、来年度事業計画、新組織体制案を協議しました

- | | | |
|---|--|--|
| ●環境福祉部 2/29 (木)
・除雪機の保守に費用がかかる | ●生涯学習部 3/11 (月)
・体育祭の開催有無は役員会で協議 | ●防災部 3/15 (金)
・防災部、消防団、消防後援会、自治会など防災関連団体の連携強化 |
| ●産業振興部 3/7 (木)
・引き続き獣害対策について力を入れる | ●老人部会 3/12 (火)
・部名の変更など65才になった人が参加しやすい体制づくり | ●女性部 3/16 (土)
・地域の女性部では寄せ植え講座が好評 |
| ●青年部 3/8 (金)
・他団体とコラボして参加しやすいイベントを企画 | ●配食サービス部 3/13 (水)
・食材費の高騰化が悩ましい | ●役員会 3/22 (金) |

🌸🌸🌸🌸🌸🌸【3月の主な行事】🌸🌸🌸🌸🌸🌸

2日	くちわのつどい	13日	配食サービス事業	19日	ぬくもり会議
7日	産業振興部会	13日	配食サービス部会	21日	ふれあいひろば177号発行
8日	青年部会	15日	防災部会	21日	防災だより62号 発行
10日	新月マルシェ	16日	女性セミナー	21日	#口和が好き11号 発行
11日	生涯学習部会	16日	女性部会	22日	役員会
11日	視察受け入れ(西城)	17日	休日開放図書館	27日	配食サービス事業
12日	老人部会	18日	健康マージャンサロン	27日	ワールドブック交流会

地域マネージャー通信欄

川上良美
(福祉事業担当)

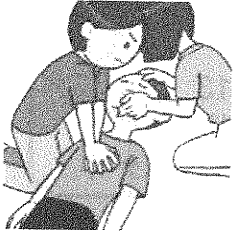


●体のメンテナンスと農作業

日に日に春らしくなり、田んぼや畑仕事の段取りが忙しくなってきました。みなさんの農作業計画は進んでいますか。以前、口和に赴任して来られたお医者さんが、田舎のお年寄りは都会の同年代の人と比べてとても元気だと言われました。その医師曰く、「田舎では田んぼや畑の仕事があり、その仕事に定年がないのがいいのですね。」とのこと。

いつまでもすることがある事はいいことなのです。足腰を傷めないよう体のメンテナンスもしながら、農作業を楽しみましょう。

福田豊明
(防災事業担当)



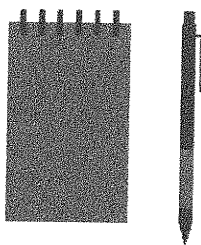
●救命処置豆知識シリーズ【第3弾】心肺蘇生

突然、あなたの目の前で人が倒れました。そんな時、あなたはどのように行動しますか?何もせずに立ち去ってしまうと、その人は命を落とすかもしれません。「救命処置」とは、ケガや病気などで倒れた人や、意識を失った人に対して、病院に行くまでにその状態の悪化を防ぎ、命を守るための手当です。救命処置の知識と技術を身に付けることで、大切な命を救うことができます。

今月の防災だよりは、基本的な救命処置、「心肺蘇生」について発信します。

心肺蘇生は、心臓が止まっている人に胸骨圧迫と人工呼吸を行うことで、心臓を動かし続け、脳のダメージを防ぐための応急処置です。

松本晋太
(情報発信担当)



●#口和が好き

いよいよ年度末ということで、慌ただしいなかではありますが、ちょっと振り返り。今年度は、「#口和が好き」で10か所にじっくりお話を伺いに行き、その他モーモー祭をはじめ再開されたイベントや新たな勉強会などにも回らせていただきました。

そのなかで、「#口和が好き、読んでるよ～」とお声を掛けてくださることもたくさんあり、本当に励みになります。そんなに大層な文章ではありませんが、結構時間は掛かります。ただ、ぼく自身がお話を伺うのが好きで、みなさんにお伝えしたくなる内容ばかりですので、乗って来ると書くのが楽しくなりますし、もしかしたら出来上がりを一番楽しみにしているのは自分なのかもしれません。今年度もこの取り組みを続けていきますので、みなさん是非読んでみてください。

【口和クイズ】答え(クイズは1面)

クイズ 八国見山の名前の由来は?

答え 山頂から八つの国が見渡せる山



口和のシンボル「八国見山(やくにみやま)」は、昔から霊山として神聖視されてきました。江戸時代の書物「芸藩通史」に備後・安芸・出雲・石見・伊予・土佐・阿波・讃岐を見渡せる山として紹介されています。

ワクワク♪ドキドキ♪が待っている

おしらせ

お気軽にご参加ください!



【通常総会】

日時 4月21日(日) 9:00~ 傍聴できます
 会場 口和自治振興センター(向泉)
 連絡先 口和自治振興区 87-2213

【自治会総会】 問い合わせ: 各自治会

湯木4/10 永田4/13 金田4/7 常定 4/7
 宮内4/10 向泉4/7 大月4/23 竹地谷3/31 本谷3/17

【ロールオンフレグランス教室】参加者募集

日時 4月22日(月) 10:00
 会場 口和保健福祉センター(永田)
 参加費 1,000円
 連絡先 口和子育て支援センター 89-7070
 口和自治振興区 87-2213



手首や胸元に塗って香水のように香りを楽しむ

「ロールオンフレグランス」を作ります

フレグランスオイルは、普通の香水とは異なり、水やアルコールは入っていないため、香りが柔らかく、肌が敏感な人でも使うことができます。

【春の美グリーン運動】

日時 4月28日(日) 7:00~
 搬入先 口和自治振興センター駐車場裏手(向泉)
 分別 ①燃えるゴミ ②燃えないゴミ ③粗大ごみ
 ④きれいに洗ったペットボトルキャップ
 連絡先 口和地区公衆衛生推進会 87-2113
 口和自治振興区 87-2213



【配食サービス まんてん弁当】利用者募集

対象者 ①調理困難な65才以上の1人及び2人世帯
 ②70才以上の高齢者世帯
 ★上記以外の方も対応を協議する場合があります★
 配達日 ●月1回利用希望…第4水曜日
 ●月2回利用希望…第2水曜日と第4水曜日

利用料 500円/1食

連絡先 口和自治振興区 87-2213

※食事制限のある方は利用できません。



【健康マージャンサロン】参加者募集

日時 第3月曜日 13:30~15:30
 会場 口和保健福祉センター
 参加費 無料
 連絡先 口和自治振興区 87-2213



【口和地域未来塾の体験会】参加者募集

対象者 口和中学校生徒
 日程 ①4月11日(木) ②4月18日(木)
 ③4月25日(木)

時間 15:10~16:40

科目 数学

会場 口和中学校

連絡先 口和自治振興区 87-2213

基礎学習を応援する学びの場です。

4月は体験会を開催し、5月から本格スタート。

体験会は
参加費無料♪



4月の行事カレンダー

登録すると
便利です♪

行事カレンダー [] 内は、口和地域のゴミ収集日です。

★印…詳細は「おしらせコーナー」をご覧ください

日程は諸事情により変更する場合があります。



日	月	火	水	木	金	土
	1 [プラスチック類]	2	3 [その他紙類]	4 [容器包装方紙パック]	5 行政文書 [燃えるごみ]	6
7	8 [燃えないごみ]	9 新月マルシェ [燃えるごみ]	10 配食サービス事業★ [新聞]	11 地域未来塾の体験会★ [容器包装方紙パック]	12 [燃えるごみ]	13
14 [施設開放日]	15 健康マージャンサロン★ [ピン・カン 有割]	16 [燃えるごみ]	17 [その他紙類]	18 地域未来塾の体験会★ [容器包装方紙パック]	19 行政文書 [燃えるごみ]	20
21 通常総会★ 休日開放図書館	22 ロールオンフレグランス 教室★ [ペットボトル 古着]	23 [燃えるごみ]	24 配食サービス事業★ 配食サービス部会 [ダンボール]	25 地域未来塾の体験会★ [容器包装方紙パック]	26 [燃えるごみ]	27
28 春の美グリーン運動★ [施設開放日]	29	30 [燃えるごみ]	ハッシュタグ「#口和が好き」で情報発信中!			

日頃の備えで支え合いのまちを 防災だより

発行：口和自治振興区

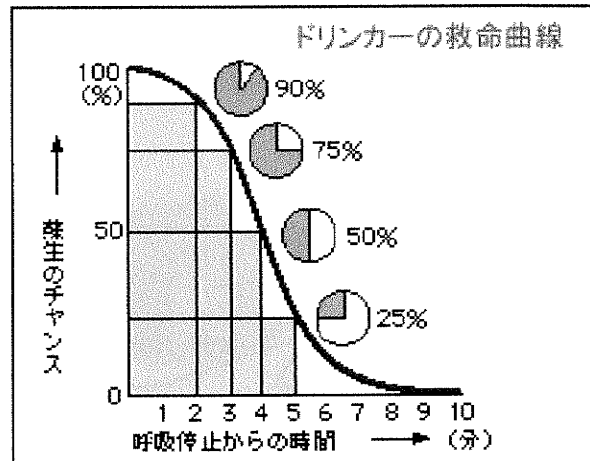
〒728-0502 広島県庄原市口和町向泉 934-4

【電話】0824-87-2213 【Fax】0824-87-2135

【メール】kuchiwajichi@gmail.com

救命豆知識 「心配蘇生」

心肺停止は、心臓と呼吸が止まってしまう状態です。心肺停止から2分以内に救命処置が行われれば90%が救命され、3分以内では75%が救命され、脳障害も避けられる可能性があります。5分経過すると救命率は25%に下がり、8分経過すると救命の可能性は



極めて低くなります。救命処置の開始は時間との戦いです。

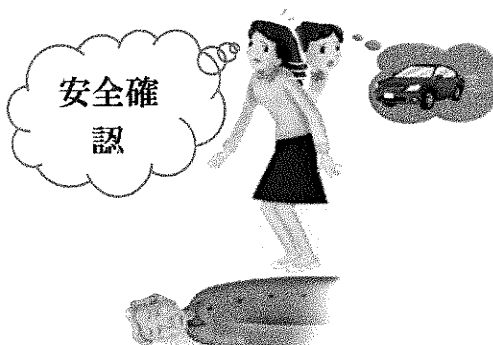
救命で最も大切なのは、早期に質の高い心臓マッサージとAEDを開始することです。救急車が来るまでバイスタンダー(ケガや急病人が発生した場合、その場に居合わせた人のことを言います)が行なう一次救命処置が、社会復帰の可能性を高めます。

心肺蘇生は、心臓が止まってしまった場合、胸を圧迫して心臓を動かす処置です。できるだけ早く行うことが重要です。

以下に胸骨圧迫(心臓マッサージ)について解説します。

心配蘇生の手順

① 安全の確認



倒れている人を発見したら、まず周囲の安全確認(交通状況、落下物、火災、感電等の危険がないか)確認します。

② 反応があるか確認

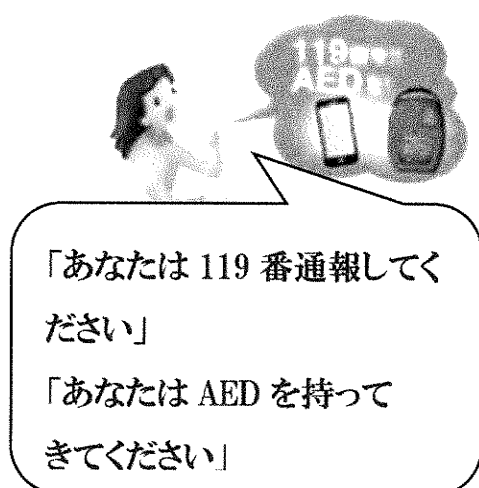


反応を確認します。肩をやさしく叩きながら、大声で呼びかけます。

何らかの「応答」や「しぐさ」がなければ、反応無と判断します。

乳児の場合は足底部を刺激しながら呼びかけます。

③ 助けを呼ぶ



意識がなければ大きな声で、「誰か119番通報して下さい」、「誰かAEDを持ってきてください」と助けを求めます。

協力者が複数の場合、誰かがやるだろうと誰も反応しない場合があります。そのため人を指定して任務分担を具体的に指示し協力を依頼します。

④ 呼吸を確認

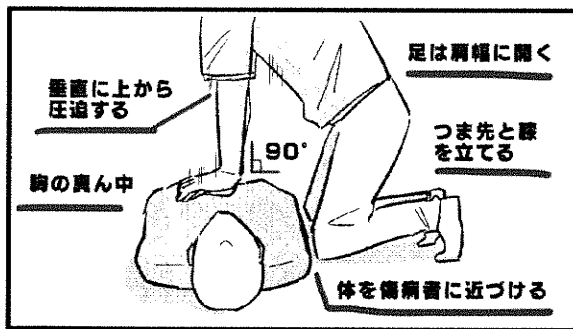


胸と腹部の動きを見て、「普段どおりの呼吸」をしているか、10秒以内で確認します

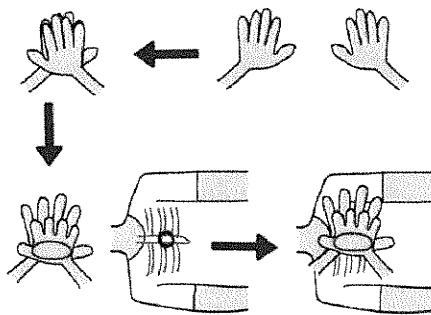
⑤ 胸骨圧迫と人工呼吸



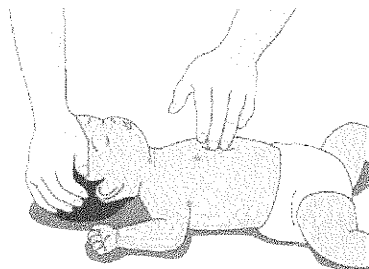
普段通りの呼吸が無い場合、あるいはその判断に迷う場合は、直ちに胸骨圧迫を実施します。胸が5cm沈む程度の強さで、1分間に100回~120回のテンポで絶え間なく押します。中断は最小限にとどめることが大切です。



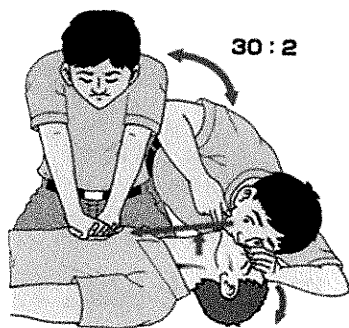
又、その時の姿勢は肩が胸骨の真上にくるよう垂直に押します。又、腕の力で押すのではなく、疲れ難いよう体重を利用して押します。



胸骨圧迫の際の手の組み方と手を置く位置です。



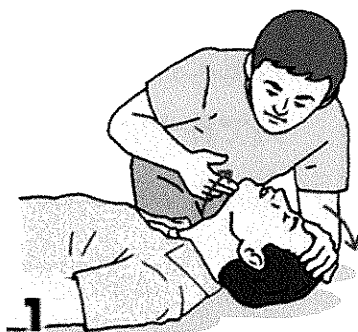
乳児に対しては胸骨圧迫と人工呼吸をあわせた心肺蘇生が望ましい。圧迫は指 2 本で胸の厚さの約 1/3 沈みこむ程度に圧迫します。



心肺蘇生の訓練を受け人工呼吸を実施できる救助者は、胸骨圧迫に人工呼吸を加えて「30 回 : 2 回」の割合で行います。これを交互に繰り返します。

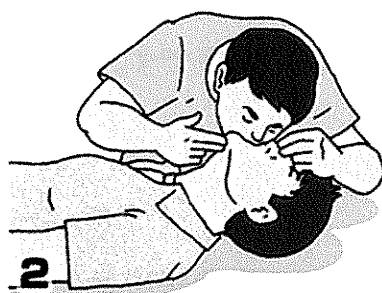
心肺蘇生の経験が無い救助者や人工呼吸をためられる場合は 胸骨圧迫のみでよいとされています。 人工呼吸がうまくできなくても、十分救命効果が向上します。

人工呼吸のやり方

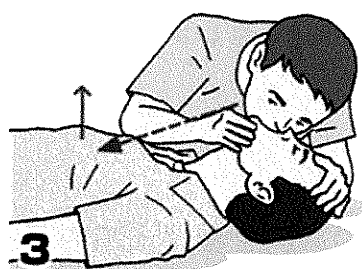


まず気道を確保します。

傷病者の顔の横にひざまずき、頭を後に反らして、あご先を指で持ち上げます。



気道を確保した姿勢から、額側の手の親指と人差し指で鼻をつまみ、吹き込んだ息が漏れないようにし、救命処置は口を大きく開き、傷病者の口をおおうように密着させます。その時感染防護具が無い場合ハンカチ等を被せます。



約1秒かけて、傷病者の「胸が上がる程度」の息を吹き込みます。一旦口を離し、息が自然に吐き出されるのを待って、2回目の吹き込みを行います。

心肺蘇生は、心臓が止まった人や呼吸が止まった人の命を救うために行う応急処置です。胸骨圧迫は、胸骨を強く押すことで心臓を刺激し、血液を循環させます。

職場で同僚が急に倒れた、家族が急に苦しみ始めたなど、あらゆるケースで自分がバイスタンダーになる可能性があります。救急車到着までにバイスタンダーが行う救命処置は非常に重要な役割を担っています。

もっと知りたい口和をお届け！ #口和が好き

発行：口和自治振興区

〒728-0502 広島県庄原市口和町向泉 934-4

【電話】0824-87-2213 【Fax】0824-87-2135

【メール】kuchiwajichi@gmail.com

情報発信を担当する地域マネージャー・松本が、深堀り取材で意外と知らない口和の魅力をお伝え!! インスタグラムやフェイスブックでも発信中!!



公式 HP



Facebook



Instagram



YouTube



川東 哲也 さん

口和駐在所 警部補

いつもにこやかに、口和の安全を守ってくれていた駐在の川東さん。今回は、まさかこの春に異動となり寂しい限りですが、川東さんへの感謝の気持ちを込めてお話を伺ってきました。川東さんの知られざる一面が明らかになります。また、あわせて川東さんから見た口和についても伺いました。

川東さんが口和駐在所に赴任してこられたのが2022年の4月ですので、この春で丸2年目になります。ご自宅は広島で単身赴任されていました。

警察官には階級があり、川東さんは現在「警部補」です。警察法第62条に警察官の階級が定められていて、巡査、巡査部長の上がこの警部補になり、その先が、警部、警視、警視正、警視長、警視監、警視総監と続くので、川東さんのこれからが楽しみです。

川東さんは瀬戸内海に浮かぶ香川県の「豊島」で1979年に生まれました。「豊島」と書く島は広島県にもありますが、川東さんがお生まれになったのは、香川県の「豊島」です。読み方は「てしま」で、高松市の北、小豆島の西に位置します。面積が口和町の約10分の1の小さな島で、小学校中学校に通い、その後はフェリーで小豆島の高校に通いました。

こうして、瀬戸内の島で育った川東さんですが、高校卒業後は現在のお姿からは想像もつかないような道に進んでいたのです。

高校卒業後の川東さんは、上京して専門学校の「文化服装学院」に進学し「スタイリスト科」で服飾について2年間学ぶこととなります。これには僕もびっくりしましたが、ほぼ全ての人がこのエピソードを聞くと「なんで(ﾟдﾟ)!」となるそうですがそれは当然でしょう。

洋服好きやファッション好きな人はたくさんいますが、その道の学校にまで通うというのはかなり好きじゃないとできないことです。それゆえに、現在の川東さんからはかけ離れていて驚きは大きくなるばかりなのです。

普段は制服姿ばかり見かける川東さんの私服姿を見てみたいですし、僕のファッションも厳しく取り締まりして頂きたいです。

文化服装学院を卒業後は、原宿にある古着屋さんで働き、服飾の世界にどっぷり浸かる日々でした。ここからどうやったら「警察官」という道につながるのか。そこには、古着屋でのある体験がありました。

古着屋は、その多くがお店は狭く、シャツやズボンがハンガーに掛けられ大量に隙間なくみっちり、床から天井まで上下二段や三段、前後左右の壁一面に並んでいるようなお店がほとんどです。周囲がみっちりの布で囲まれ露出した壁が少ないので、音の反響が少なく、棚下に隠れているラジカセなどから、だいたいレゲエやラップが流れています。

そうすると、必然的に店内は死角が多くなります。鏡や防犯カメラはありますが、直接店員さんの気配を感じない場所ができてしまうのです。

もうお分かりかと思いますが、そうなのです。「万引き」が多いのです。商品には防犯タグが付けられているので、それが付いたまま出入口のゲートを通るとブザーが鳴ります。万引きをした子は、ブザーが鳴ると猛ダッシュで逃げていき、それを川東さんがさらに猛ダッシュで追いかけるということが度々ありました。

「なんで、この子達は万引きをしてしまうのだろう。」

ブザーが鳴るとダッシュする日々を過ごしながら、川東さんの頭のなかにはこのような思いが湧いてきました。

そして万引きをする若者達と向き合い様々な事情を聴くうちに、いつしか少年犯罪を減らしたいと想うようになり、警察官という道を考えるに至りました。

3年間勤めた古着屋を辞めて、どうせなるなら故郷でということで、香川に帰り警察官採用試験の受験勉強に取り組みました。

しかし、当時の香川県警察は採用人数が少なく、3人程度の採用に対し200人以上が受験するという狭き門でした。そこで、周辺の県もいくつか受けることにし、そのうち比較的採用人数の多かった広島県警察に採用されました。

最初の赴任地である広島東警察署では、交番勤務が3年、初動捜査係が1年。その後、広島中央警察署へ異動後に1年間交番勤務をされたあとは、ここ口和に来るまでは約11年続けて刑事畑を歩んでこられました。

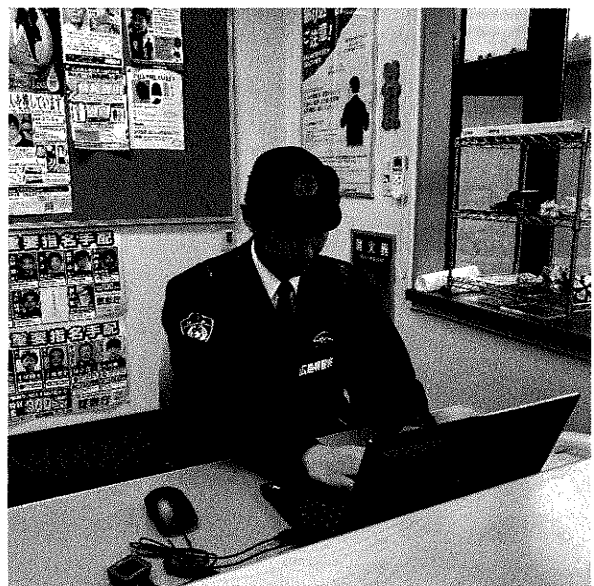
配属先には、広島中央警察署の強行犯係や、広島県警察本部の刑事部刑事総務課の刑事部長直轄捜査隊、刑事部捜査第一課といった、なんとも凄い名前が並びます。

現在は口和の駐在さんということで、私たちからすると制服姿が当たり前ですが、川東さんのこれまでの警察官キャリアのうち制服を着た地域警察官の5年5カ月に対して、刑事としては13年間ということで、その多くを刑事として歩んで来られました。

そのなかで、僕のような一般人の人生では一度も経験しないような場面を何十回、何百回と踏んで来られているのです。川東さんをはじめ、全国の刑事さんたちは、私たちが知らないところで過酷な仕事を引き受けて下さり、ドラマや映画のような、またそれ以上の場面に日々臨んでおられるのです。

川東さんも、口和に赴任して来てお子さんの学校行事に参加できるようになったのが嬉しいとおっしゃっていました。川東さんのどんなときも変わらない笑顔の向こうには多くの出来事があったと思うと、あの笑顔に人間的な厚みを感じずにはられません。

刑事の世界から約11年振りに制服を着た地域警察官としての赴任地が口和ということで、地域的にも仕事内容的にも全てが新鮮だったのでと想像します。



実は、事務仕事もたくさんあります

川東さんが口和に来られて印象的だったこととして、季節を感じられること、地域の伝統行事やお祭りが多いこと、地域のつながりが強いこと、ひとが優しいこと、食べ物が美味しいこと、などたくさん挙げられています。刑事時代と比べると、口和に住む私たちには当たり前のことでも感動的に映るのかもしれませんが。

なかでも、地域のつながりが強いというのは、警察官というお仕事上も大切な部分です。口和では、口和支所、社会福祉協議会、自治振興区、民生委員さんなどたくさんの方々が綿密に連携していますが、広島市内ではこのようなことを経験したことがないそうです。様々な会議で地域ことを熱心に考えておられるみなさんの姿を見て、川東さんも見習わなければと思っていらっしゃるそうです。

また、駐在さんの大切なお仕事のひとつに「巡回連絡」があります。巡回連絡とは、地域住民の皆様の要望や意見をお聞きしたり、犯罪の予防、交通事故の防止などについて連絡を行ったりするために、年に1回、家庭や事業所を訪問する活動です。地域住民と警察官が顔なじみになっておくことは、災害などが起きた場合に非常に重要になってくるのですが、その一方で、訪問を受けるお家の人からすると、「突然警察官が来た！」という場面になるので、初めてだと結構ドキッとします。僕などは、警察官のみなさんの、無線機等がくっついたチョッキ状をした装着物の非日常的且つSF的質感に圧倒されてドキドキが増します。

都市部では隣近所のつながりが薄く、誰かが家に来るというのも限られています。郵便や宅急便の配達ならいいのですが、なかには押し売りの訪問販売もあり、誰かが来るということに抵抗感をおぼえる人も多くいます。そんなこともあるなかで、非日常的装備を身にまとって各家庭を訪問するのは、すんなり行くことばかりではないだろうと容易に想像できます。本当にご苦労さまです。

ところが、口和ではどのご家庭もみなさん一様に快く受け入れてくださり、なかには巡回を楽しみに待ってくださっている方もいらっしゃるというではありませんか。

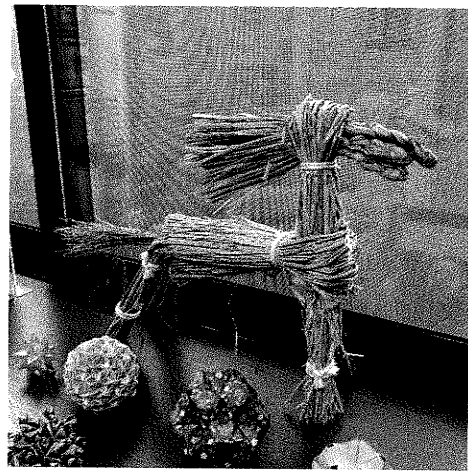
そればかりか、地域の方のほうから、声を掛けてくださったり、ときには駐在所にお話に来てくださったりすることもあるそうです。

これが、「田舎ならよくあること」と解釈することもできますが、口和特有のひとを受け入れてくれる地域性にとらえることもできます。

というのも、以前口和に赴任されていた西本さんは、口和が気に入ってそのまま定住までしてしまいました。さすがにこれは、「田舎だからよくあること」ではありません。

以前、川東さんのご家族が夏休みに口和に遊びに来られた時も、口北のプールで泳いでいると口和の子ども達が川東さんのお子さんに声を掛けて一緒に遊んでくれたそうです。

川東さんは、このことから、子どもから大人まで口和の人の優しさを感じていらっしゃいました。



駐在所の窓辺にはトラハイのわら馬がちなみに、駐在さんは日常的には駐在所の外でお仕事をされていることが多いので、留守になることも多いそうです。なので、もし事故や事件など緊急のことがあった場合、駐在所に電話しても留守が多いので、必ず「110番」か「庄原警察署（0824-72-0110）」にご連絡ください。駐在さんには無線で連絡があるので、そのほうが確実に早いそうです。

一方、川東さんが心配されているのが、防犯についてです。もともと地域のつながりも強く、優しい人が多いことから、犯罪が起こることも極端に少なく、それゆえに防犯意識が高まるような出来事ありませんでした。それを最もよく表しているのが「家のカギ」ではないでしょうか。口和では、外出する場合にカギを掛けないことがあると思います。

確かに窃盗などの犯罪が起こる確率は、都市部の方が高く、また訪問販売なども多いので、家に居るときも玄関のカギを掛けている人がほとんどでしょう。

川東さんは口和でももう少し防犯意識を高くして欲しいと考えています。

田舎だからカギを掛けなくても大丈夫。これを逆手に取り、田舎を狙う窃盗も現実には起きていることを考えると、防犯意識を高めておいてもよいのではないのでしょうか。

また、なかなか減らない「振込め詐欺」などの特殊詐欺についても、気を付けるのはもちろん家の電話を防犯機能付きにするといった対策も重要です。

普段のパトロールや通学の見守りなどで地域の安全を守ってくださっている川東さんですが、防犯意識をより一層高めてもらうために、地域のサロンなどに出向いてお話をされることもあります。駐在さんと地域の距離が近いからこそ、このようなお話をいかして、より安心安全な口和にしていきたいですね。

出向くと言えば、川東さんは特技のサッカーを生かし、ご都合がつくときは口和の少年サッカークラブ「口和 F.C.」で臨時のコーチもされています。

見るからに子ども好きな川東さんが、あの笑顔で子ども達とボールを追いかけけている姿が、すぐに思い浮かぶのではないのでしょうか。そればかりか、ときには高学年に対しての指導で熱が入ることもあります。

お仕事はもちろん、それ以外の時間でも自然体で口和に溶け込んでくださっている川東さん。歴代の駐在さんは皆さん素晴らしい方ばかりです。その伝統を川東さんもしっかりと継承して下さっています。

そういえば、以前口和に赴任されていた田丸さんは川東さんと個人的に親しい先輩で、昨年のモーモー祭でもお見掛けしましたし、休みの日に口和に来られることもあるそうです。

口和に定住して下さった西本さんをはじめ、駐在さんが異動されてからも口和に縁を持ってくださるのは、とてもうれしいことです。

寂しいことに、川東さんは異動になってしまいましたが、口和のことを忘れないで、必ずまた口和に遊びに来て欲しいです。そして、そんな風に思える駐在さんがいるのは、地域としてとても幸せなことだと思いました。

川東さん、お体に気を付けて、新しい赴任地でもご活躍をお祈りしています。本当にありがとうございました。



口和駐在所のまえで敬礼！

地域マネージャー 松本 晋太